


平成22年5月31日

事業の評価書

池田市長様

秦野地域コミュニティ推進協議会  
会長 北浦 啓次 

記


事業の名称	地域分権コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	20年度から広報誌「秦野まちづくりだより」の各戸配布、オリジナルデザインのクリアファイルを中心とすることにより、協議会活動のPRに勤めてきた。それにより一定の周知が図られた。しかし、地域分権を定着させるために、協議会活動についての関心をさらに高める必要があった。
事業実施後の状況	21年度は「秦野まちづくりだより」の編集に、協議会活動だけでなく、稚児行列など地域の伝統行事や、他の諸団体の活動を取りあげ、より広く記事内容の充実に勤めた。また、新たに校区運動会のプログラムに協議会活動の紹介記事（広告）を掲載することにより、広報メディアを拡げた。クリアファイルについても活用され、同一デザインで増刷した。
事業の効果	「秦野まちづくりだより」の記事内容を地域の行事や諸団体の活動など幅広く盛り込み、より多くの人々の目を引くようになった。また、「わいわい秦野」など地域の諸団体との会議にも、幅広く活用・配布されるようになった。また、校区運動会のプログラムという新たな広報メディアを使ったことで協議会活動をより広くPRできた。クリアファイルの使用についても、徐々にオリジナルデザインが定着してきたと思われる。
今後の課題	今後、地域分権を進めるために、より地域に密着した課題を取り上げていくなど地域との双方向のコミュニケーションが重要になっている。広報誌発行を中心とした協議会の広報活動もその中心的役割を担うものに一層充実すると共に、より活用されるように努めていく必要がある。

平成22年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次 

記


事業の名称	秦野地域内における共通課題等の勉強会開催事業
事業実施前の状況	目的：安心・安全な地域づくりに校区3町の組織団体間で(行政も交え)問題意識・情報の共有化を目指し、創意工夫を重ねギャップの少ない地域を目指す事業(合同懇談会、講演会等)
事業実施後の状況	事業実施報告 H21.9.懇談会 1)分権事業を推進しよう 2)地域の問題・課題もみんなで考えよう 来賓 政策推進課 衛門課長 観光ふれあい課 西田主査 於南畑会館参加者56名 H22.3.懇談会 1)地域分権及び地域の諸問題・課題を考えよう。 来賓 政策推進課 岩城専門官 観光ふれあい課西田主査 於南畑会館参加者42名
事業の効果	H22.11.講演会 山田勝久先生 テーマ「文学と歴史で綴る池田の今昔」 於いて 花園・南畑会館2会館 聴講者161名 H22.3.講演会 木原勝彬先生 テーマ「地域コミュニティの再生」 於いて 南畑会館 聴講者21名
今後の課題等	地域の特徴とまちづくりの方向性(秦野小学校区)2)地域の特徴(案)中、地域の良いところで、地域住民のコミュニケーションが良いとあるが如何か？ 然し徐々に良化しつつあることは確かだ。当面の目標の達成はこれを実感したときだ。文化の異なる3地域の住民が共通の目的・問題意識を共有し、GAPの少ない地域を目指す為のORIENTATION機能は勉強会会員のチーム力で半歩ではあるが果たせたのではないか？未だ試行錯誤の段階である。勉強会を継続し、その積み重ねがより良い成果につながると思う。

平成22年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦啓次 

記

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	<p>高齢者にも利用者の利便性向上を目指し、共同利用施設の備品整備                      什器備品 軽量机(キャスター付) 20台 椅子 12脚 ホワイトボード 7台                      既設机 (設置時期S-57年 16台 重量約30kg) 南畑会館・花園会館                      各8台 1)高齢者の取扱不便 呉羽の里会館新設置 4台 椅子12脚                      黒板 2)劣化・チョーク粉飛散もあり健康上問題あり? ホワイトボード新設                      上記備品はともにH21年7月中旬～下旬に納入</p>
事業実施後の状況	<p>1) 呉羽の里会館会議室は従来和室2階にあり、組織団体の会議が                      軽量机・椅子の設置により会議効率が良化している。                      2) 花園会館に搬入の軽量机8台に対し、旧重量机8台は秦野会館へ                      搬入し、協議会にて維持管理している。 但し、南畑会館の旧机は、                      南畑会館運営委員会にて維持管理している。                      3) 下渋谷会館に搬入のホワイトボードは既設の黒板除去し取り付けた。</p>
事業の効果	<p>地域コミュニティ内の活性化を目指す組織団体の会議件数増加顕著                      特にキャスター付軽量机は、南畑・花園 2会館 及び、和室しかない                      呉羽の里会館では、机・椅子ともに省力化で高齢者に歓迎されている。</p>
今後の課題等	<p>1) H21年7月納入花園・南畑2会館の軽量机16台は設置率50%である。                      2) 特に南畑会館は、福祉委員会による老人交流(昼食付)が行はれる                      ため、23年度事業として幅60cmの机(既設幅45cm)設置要望が強い。                      3) 花園会館に於いても、残8台広幅機の設置が望ましい。                      4) 秦野会館に設置されている机は、重量は少し軽い(S-47頃の設置?)                      最近協議会で常時使用している。H23年度事業にて設置が望ましい。</p>

平成22年 5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	地域ギャラリー
事業実施前の状況	地域全体としての共通の作品などの発表や情報の 掲示場所が不足していた。
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>看板を設置したので、ギャラリーの使用目的が 分かりやすくなり、応募作品も増えてきている。</li><li>地域の子どもから大人まで、絵画、習字、写真、 短歌、絵手紙、かるたなどいろいろの作品を2 週間ごとに入れ替え掲示している。</li></ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>ギャラリーが目立つようになり、通行人の方も、 見に来られる頻度が増えている。</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>ギャラリーの存在は以前よりは知られるようになっ てきたが、まだ作品の応募数は不十分である。</li><li>今後も根気良く広報活動が続けていきたい。</li></ul>

平成22年 5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次



### 記

事業の名称	イベント備品
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・盆踊りや運動会などのイベント開催時に重たいパイプ椅子、テントでは設置作業に人数、時間がかかり、危険でもあった。</li><li>・椅子が老朽化し、数も不足していた。</li></ul>
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・軽量、ワンタッチテントの導入で、作業が安全、簡単になった。</li></ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・盆踊り、祭り、運動会、ソフトボール、花見など、色々なイベントへの活用が増えてきた。</li><li>・雨などの心配が無くなり、運営がやりやすくなった。</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・まだ認知度が低く、より多くの人々、より多くのイベントに活用してもらえるよう、広報活動に力を入れていきたい。</li></ul>

平成22年5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次  印

### 記


事業の名称	AEDの設置
事業実施前の状況	市による既設のもの(学校など)以外、何もなし。
事業実施後の状況	3基購入。(屋内式) 渋谷花園、呉羽の里会館に設置。呉羽の里会館は別途手配により防水カバーと購入し、屋外軒下に設置し、24時間使用可とする。
事業の効果	住民が万一の心臓微細動脈発生に備えるものとして、安心感を持った。 幸いにも、3ヶ所共、まだ使用事件は発生していない。
今後の課題等	住民(協議会員を含む)約40名が消防署で操作訓練を受け、修了証をもらったが、まだまだ少なく、もっと多くの人に訓練を受けようことが必要。 また、人形AED機を消防署から借り出し、修了者による地域別訓練が必要。

平成22年 5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次  印

### 記

事業の名称	交通安全看板等設置
事業実施前の状況	坂や小道が多く通学路において危険な箇所に表示看板が少なく安全に対する感覚が乏しい。
事業実施後の状況	渋谷地区に設置したが、歩行者だけでなく自転車、バイク、自動車に対しても看板の注意で安全意識を高められた。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>子どもたちだけでなく大人も、ストップマーク・電柱看板に注意するようになった。</li><li>ストップシールに追加設置希望が多い</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>学校などの保護者、見守り隊などと一緒に設置できたら良いと思う。</li><li>坂が多いため自転車に対して考えたい。</li></ul>

平成22年 5月 31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名

北浦 啓次



印

### 記

事業の名称	交通安全教室
事業実施前の状況	前年度から交通看板、ストップシールを設置したが、それだけで終わると意識が下がるため、設置した看板等を利用した交通安全教室を開催する。
事業実施後の状況	インフルエンザの流行のために中止になる。 W-WB <sub>2004</sub> 4 反射シート2000枚
事業の効果	来年度の教室に期待したい。
今後の課題	学校、幼稚園、保育所、見守り隊、PTAなど各種団体との関係をもっと作っていかねばならないと思う。



平成22年 5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 北浦 啓次  印

### 記

事業の名称	街路灯の照度アップ
事業実施前の状況	前年度旭丘、渋谷1丁目が終わり、残る渋谷地区、畑地区にも老朽化による交換を要する照明、照度アップした方が良い場所がまだ散見される。
事業実施後の状況	渋谷1・2・3丁目、畑5丁目の一部を対象地区とし、適切な照度調節を図った。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 夜間暗く歩きづらい場所も、明るくなったことにより安心感が生まれた。</li><li>・ 夜間において標識、看板がよく見えるようになった。</li></ul>
今後の課題	この照度アップは、すべてを交換するのではなく、場所に応じて実施し、その地域の方々の意見が大切です。説明会への参加を広く勧めていきたい。